

## (12) 沖縄



沖縄地域では、景気は着実に回復している。

- ・ 観光は堅調に増加している。
- ・ 個人消費は堅調に増加している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)

### 前回からの主要変更点

なし

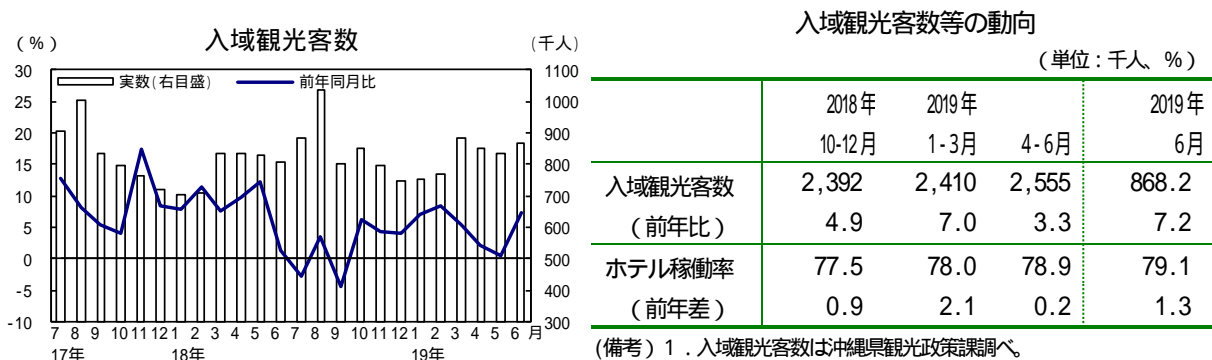
### 1. 観光の動向

観光は堅調に増加している。

入域観光客数のうち、国内客について、4月は、ゴールデンウィークによる航空会社の臨時便の運航があったことや、沖縄国際映画祭等の大型イベントの開催があったこと等から、前年を上回った。5月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりがあったことや、航空会社の臨時便の運航があったこと等から、前年を上回った。また6月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していたことや、旅行会社の商品販売強化の取組があったこと等から、前年を上回った。

外国客については、4月は、ゴールデンウィークが10連休となり旅行商品が高騰したことや、クルーズ船の寄港回数が減少したこと等から、前年を下回った。5月は、ゴールデンウィークが10連休となり旅行商品が高騰したことや、クルーズ船の寄港回数が減少したこと等から、前年を下回った。また6月は、前年同月より航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

主要ホテルの4 - 6月期の客室稼働率は、那覇市内ホテルは前年同期を下回ったものの、リゾートホテルは前年同期を上回っている。



(備考) 1. 入域観光客数は中総県観光政策課調べ。  
2. ホテル稼働率は日本銀行那覇支店調べ。  
3. ホテル稼働率の前年差については、内閣府にて算出。

## 2. 個人消費の動向

個人消費は堅調に増加している。

### (1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

4月は前月比1.7%増、5月は同0.7%減、6月は同0.3%増となった。

### (2) 百貨店・スーパー販売額

4月は、販促企画の後ずれにより衣料品が、改装効果等により化粧品や医薬品が伸長したこと等から前年を上回った。5月は、食料品が堅調であり、引き続き化粧品や医薬品が伸長したこと等から前年を上回った。6月は、早めの中元商戦やセール効果等より食料品が増加したこと等から前年を上回った。



	2019年4-6月	2019年4月	5月	6月
RDEI (消費*1)	2.2	1.7	0.7	0.3
百貨店・スーパー(*2)	3.7	3.8	3.4	3.9
コンビニ(*2)	5.6	6.2	5.8	5.0
乗用車(*3)	4.6	3.0	7.5	18.8
(季節調整値)(*3)	9.1	24.5	6.3	28.9

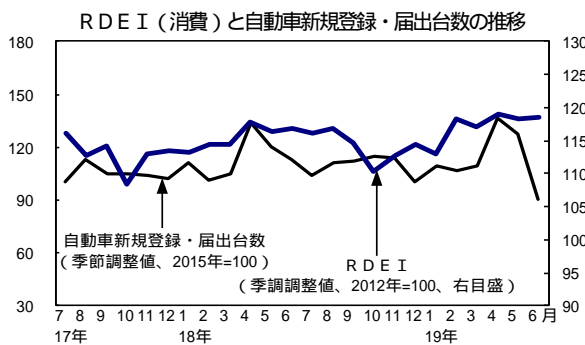
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 前年同期(月)比(%)

百貨店・スーパーは経済産業省調べ(店舗調整前)

コンビニは日本銀行那覇支店調べ

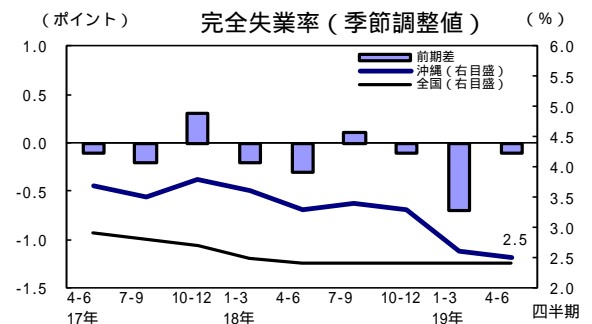
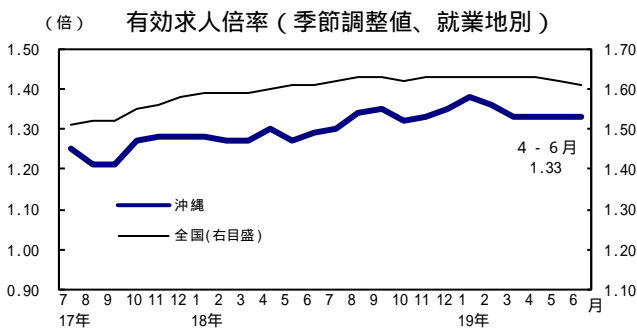
3. 乗用車は、乗用車新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%)



## 3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 沖縄県「労働力調査」の月次値を、内閣府にて四半期平均化。